情報を伝える　魅力が伝わる　十日町市をもっと好きになる

とおかまち 市報

Public Relations
No.263
3 2016/10
平成28年 3月10日号

TOKAMACHI とおかまち10周年

特集

松之山地域特集
地域で守る美人林

（2〜5ページ）

その他の主な内容

ピックアップニュース
6 第67回 十日町雪まつり
10 十日町市防災基本条例の施行
11 新潟県自殺対策強化月間のお知らせ
12 タウントピックス
15 連載コーナー①
こへび隊・サポーター通信／想史創愛
16 キラメキワーカーズ
17 お知らせ・ガイド
連載コーナー②
22 熱中・夢中／おらほのたから
24 ジュニア芸術祭

特集

松之山地域特集 地域で守る美人林

十日町市の木「ブナ」。

市内に多くあるブナ林の中でも、息をのむ美しさで全国に知られる林、それが美人林です。

かつては名もないブナ林が、今では年間10万人が訪れる観光地となりました。

本特集では、美人林を守る人の思いと、その魅力をお伝えします。

●問合せ＝松之山支所地域振興課 ☎596－3131

美人林のなりたち

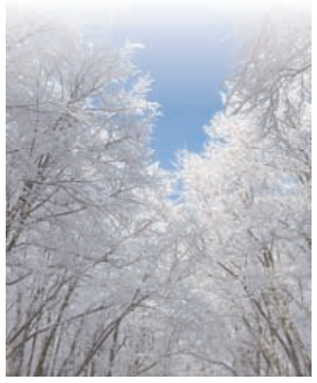
美人林は、松之山地域の下川手集落にある約3ヘクタールのブナ林です。大正末期、この林のブナは木炭にするためすべて伐採され、一面の原野となりました。翌年、伐採されたブナが残した種子や若木が一斉に芽生え、その後、地域の人たちによる間引きや間伐が行われてきました。昭和50年代から、ブナの立ち姿が美しいことから「美人林」と呼ばれるようになり、森林浴の場として整備が始まりました。

～美人林のあゆみ～

明治末期：農業用水のため池が作られる
大正末期：土地の所有者がすべてのブナを伐採。その後、種子による芽生えや若木の成長が始まる
昭和30年頃：農道として掘割（ほりわり）がつくられる
昭和50年代：「美人林」という名で呼ばれ始める
昭和59年：下川手集落を中心に森林浴の場として整備が始まる
昭和62年：美人林で成人式が行われる
平成８年：美人林コンサートを初開催（現在までに５回開催）
平成27年：「わしらの芸術祭」を開催

「美人」が続く理由

美人林は、林の中を自由に散策できることが魅力で、全国からの観光客に喜ばれてきました。しかし、その一方で、土が踏み固められることで成長が衰えたり、ブナの過密状態から光が遮られ、枝葉が枯れたりしています。それでも、美しい立ち姿を持続し、観光客を魅了するのは、たくさんの人の手による保全活動があるからです。



Interview

この風景を守り、残したい

美人林を守る会
会長　田邊　廣さん
（下川手・65歳）

会の活動は、春と秋の年２回の清掃を中心に、間伐などの保全作業もしています。５年ほど前からは松之山自治振興会との協働での作業も始まりました。昨年はブナを選定して伐採し、チップにして林に還しました。

会員の中には高齢になった人もいますが、元気なうちは活動を続けようとがんばっています。一般の参加者も少しずつ増えてきています。

美人林は90年の歳月をかけて現在の風景になりました。春は芽吹き、夏は木陰の涼、秋は紅葉、冬は枝に着く雪の輝きなど、四季それぞれの表情に魅力があります。これからも、この風景を守り残していきたいです。

笑顔を想像しながら活動

緑の少年団
竹内　堅生（けんせい）さん
（松之山小６年）

美人林に来てくれるお客さんの笑顔を想像しながら活動しています。自分たちがきれいにした林に、たくさんの人が来てくれることがうれしいです。

【美人林を守る会】

昭和59年、土地の所有者約20人を中心に結成。毎年２回、清掃や保全活動をしている。平成26年には、長年の活動が評価され「第38回全国育樹祭　ふれあいの森林（もり）づくり理事長賞」を受賞。

【緑の少年団】

松之山小学校では、約20年前に「緑の少年団」が発足。小学校に隣接する林の管理や、松之山地域全体の自然を大切にする活動を実施。美人林では、毎年春と秋の２回、枝やごみを拾い集める清掃をしている。

ブナ林の新たな可能性

ブナ材の活用

市内には、美人林のように人の手で作られたブナ林が広く分布しています。特に私有地のブナ林は、かつて薪や炭などを得るための薪炭林として利用されてきました。しかしながら、現在ではその価値がなくなり、豪雪地の自然資源としての活用が課題となっています。

この課題を受け、キョロロでは、県内の大学・森林組合・製材所・家具メーカー・木工おもちゃ工房などと協力し、新たなブナ林業を展開しながらブナ材を活用する取組みを始めました。このブナ材を使ったグッズをキョロロのミュージアムショップで限定販売しています。この取組みはウッドデザイン賞２０１５を受賞しました。

松之山のブナ林を活用したグッズ。アクセサリーやおもちゃなど多彩な製品を開発中。

教育資源としてのブナ林

これまで観光資源として注目されてきたブナ林ですが、近年では地域の価値や課題を学ぶ場としても注目されています。キョロロを受け皿に、都市住民の田舎体験・小中学校の学習・スーパーサイエンスハイスクールの課題研究・大学の実習の場など、新たな教育資源としてもブナ林が活用されています。

冬のブナ林を体験する子どもたち。

ブナ林のある地域を次世代へ

Interview

ブナ林を守ることは、観光だけでなく、防災の面からも大切なことです。耕作放棄地が増えることで、地すべりの危険性も増えてきました。ブナには保水力があり、ブナ林があることで地すべりを防止しています。この土地に適した地元のブナでないと育たないため、キョロロで育てられた苗を植林しています。地域を守るため、これからもブナの植林を続けていきたいです。皆さんも、まずは美人林に来てみてください。ブナ林を楽しむことで、ブナ林を好きになり、守りたい気持ちが生まれるはずです。

ブナの里創り実行委員会
委員長　**小野塚　良雄**さん
（上鰕池・67歳）

【ブナの里創り実行委員会】

平成８年、旧松之山町ではブナ条例が制定され、美人林を含む町内の数か所のブナ林を「保全するブナ林」として指定。美人林は年々増加する観光客のために林床やブナへの影響が心配され、第２、第３の美人林の育成が課題となった。平成17年に、ブナの里創り実行委員会を立ち上げて、植林などで課題解決に取り組んでいます。現在は、美人林の枯れ枝打ちや、地域内のブナの実生から育てた苗、山取りの苗などを使ってキョロロ周辺の荒廃地などにブナの植林を進めている。この活動には、東京松之山会から資金の援助や、植樹への参加などで支援を受けている。

ブナ林を楽しむ

ブナの森 ようちえん

五感を使ったプログラムや、体験を通じた学びを里山のブナ林で楽しめます。美人林でのハンモック体験、たっぷりの落ち葉を使った遊びはいつも大人気です。美人林は自然を生かした野外教育・環境教育の舐台としても近年活用されています。

主催：キョロロ※未就学児と保護者が対象

探鳥会

ブナ林には、ブナの葉に集まる虫を餌とする鳥や、ブナの樹洞（じゅどう）で繁殖する鳥が集まります。ヤマガラやシジュウカラなどの留鳥のほかに、夏鳥として渡ってくるアカショウビンやブッポウソウ、ニュウナイスズメなどはブナ林をよく利用します。ブナの幹に入る幼虫を食べるキツツキの仲間もよく見られます。

ハイキング/スノーシュー

ブナ林の散策は、季節を問わず楽しめます。残雪と新緑の春、青葉が茂る夏、落ち葉を踏みしめながら歩く紅葉の秋。降雪期には、純白の雪上でスノーシューを履いて歩くこともできます。動物の足跡や、雪虫・キノコ・木々などの冬の様子を観察しながら、心と体をリフレッシュする絶好の機会です。

里山の散策を「里山のめぐみ案内人の会」がガイドします。夏は、「心美人ハイキング」冬は、「美人林スノーシューツアー」を実施しています。

申・問 松之山温泉合同会社まんま☎025-595-8588

「森の学校」キョロロ

美人林に隣接した、参加体験型の地域活性化拠点施設です。地域の自然と人との関わりや、生物多様性など自然のしくみやめぐみなどを、見て・触れながら詳しく学ぶことができる科学館です。美人林などのブナや森の仕組みや楽しみ方も学ぶことができます。里山探検など、美人林を会場にした観察会も開催しています。

問☎025-595-8311

第67回

十日町雪まつり

雪上カーニバル 光音華

1

2

3

4

5

6

2/19(金)～21(日)

問合せ☎観光交流課☎757－3100

楽食遊ひろば

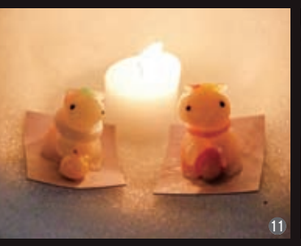
8

9

10

13

各会場で
おもてなし♪


11

12

❶❷白いステージを彩る、「繭の会」の皆さんによるきものショー。❸十日町小学校６年生も、板野友美さんと一緒に華麗なダンスを披露してくれました。❹❺❻子どもから高齢者までたくさんのお客さんが楽しみました。カップルや外国のお客さんも多く見られました。❼12年ぶりに復活したナイアガラ花火。❽毎年恒例のオープニングフェスティバルのバルーンリリース。❾和の雰囲気が漂う雪上茶室。❿山本愛泉保育園の園児もオープニングを盛り上げます。⓫ウェルカムひろばでは、チンコロもお出迎え。⓬各ひろばで食のおもてなし。心も体も温まります。⓭そりやスノーチュービングなど、アトラクションがいっぱい！　⓮はくぶつかんひろばでは、民具を着た記念撮影もできます。

14

小雪の十日町雪まつりに咲く笑顔

オープニング初日の積雪深は、87センチメートル（学校町地内観測所）。昨年の同日257センチメートルに比べて、小雪での雪まつりの開催になりました。雪像作りができなかったり、ひろばを縮小したりと、雪が少ないことで開催に苦労がありましたが、当日は、市民もお客さんも「雪を友とするまつり」を楽しんでいました。

３日間で、県内外、海外から延べ26万人が来訪。雪上カーニバルは、延べ２万７千人のお客さんが、音と光のステージを満喫しました。

雪の芸術展

雪まつりの原点「雪の芸術展」には、芸術部門32点、特別部門19点、学童部門17点の計68点が出展されました。芸術部門に入賞した22作品と特別表彰受賞団体を紹介します。

●賞　作品名／参加団体

●十日町商工会議所会頭賞　方舟（希望の火焔）／田麦有志と日本大学芸術学部

●十日町織物工業協同組合理事長賞　西遊記～超猿火焔山激闘伝～／北新会ｗｉｔｈ新田イベント研究所

●十日町農業協同組合経営管理委員会長賞　森へのいざない／あてま有志の会

●新潟県建設業協会十日町支部長賞　鯉と金太郎の物語／上新田青壮年会

●十日町市商店街連合会長賞　のん気に暮らしなさい！／のぞみの郷　新墾会

●十日町市文化協会連合会長賞　絆おりなし／愛ｉｎｇ下条

●十日町ロータリークラブ賞　ＩＺＡＮＡＩ／本町一丁目四区合同

●十日町北ロータリークラブ賞　あさが来た。／東部地区振興会

●十日町ライオンズクラブ賞　銀河鉄道／鉢真生会三好将史とゆかいな仲間達

●十日町平成ライオンズクラブ賞　ほら、のぞいてごらん！／下条商工会

●十日町青年会議所理事長賞　ＭＩＲＡＩ!!／水沢雪まつり会青年部

●地元新聞社賞　Ｔｏ－Ｂｅだす！／三春会

●キリン賞　新宮伝説～第２章～／新和会

●十日町地域森林組合長賞　ミュージック　ボックス／ひのスノーマン

●ほくほく線賞　ストップ温暖化～この難民も何んとかせねば～／八箇活力委員会

●コカ・コーライーストジャパン賞　安心してください！五郎丸ですよ!!／七和会

●エフエムとおかまち賞　イルカウォッチング／上新田いずみ会

●審査員賞　明るい未来へトライ！／関浅四季の会

【特別表彰５団体】

・45回参加表彰　本町一丁目四区合同

・30回参加表彰　城之古青年会

・25回参加表彰　愛ｉｎｇ下条

・５年連続表彰　ひのスノーマン

十日町市演劇協会

『琵琶懸城…憂愁…』
城之古青年会

十日町市長賞

本当はあったもう１つのアリス
七和地区振興会

十日町市議会議長賞
七夕月の願い
アウト・ドア・ファミリー４クラブ

十日町市観光協会長賞
義
水沢雪まつり会

豪雪 JAM

最終日に、雪上カーニバルのステージを利用して開催された豪雪JAM。1,500人が真冬のロックフェスティバルを楽しみました。

きもの女王コンテスト2016

52人の応募の中から、12人が本選会へ出場。次の３人（右写真）が、きもの女王2016として選ばれました。

※写真左から

・南雲　咲穂さん

・佐治　瑠璃さん

・竹藤麻里花さん

きもの女王2015も、最後のPRに務めました。

Pick Up 十日町市防災基本条例の施行

自助・共助・公助で防災対策に取り組みましょう

●●●●●問合せ：防災安全課防災安全係☎757-3197

市の防災の道しるべとなる「十日町市防災基本条例」を4月1日から施行します。条例の意義や全体像をお知らせします。

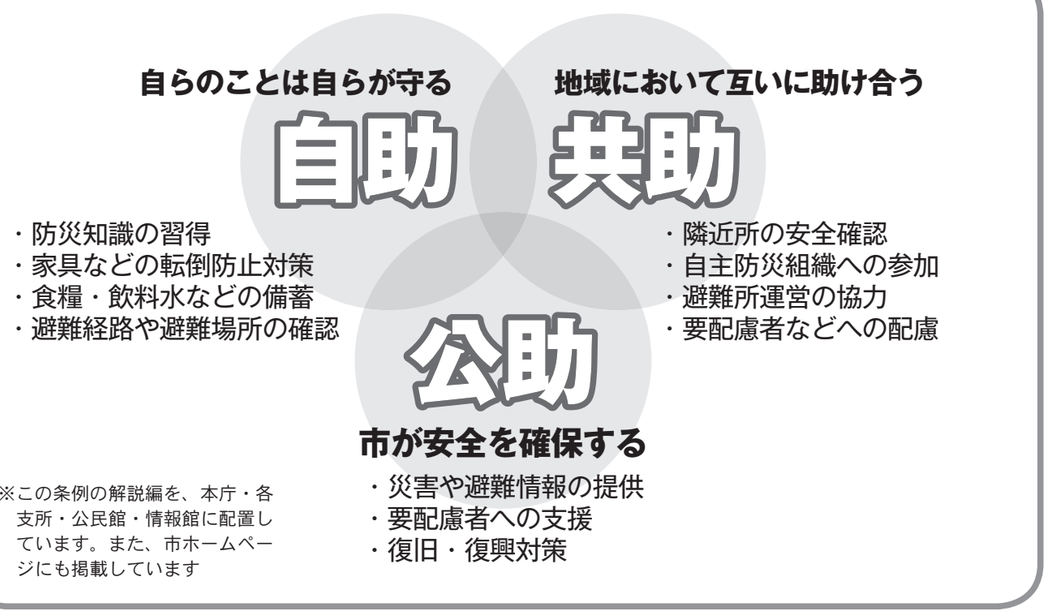
条例制定の背景と目的

市では、災害に強いまちづくりを重要課題として位置付けています。災害から市民の生命・身体・財産を守り、安全な暮らしを確保するために、災害対策機能を強化し、地域ぐるみの防災・減災対策を推進しています。

この条例では、市民・事業者・市・議会による災害の予防、災害が発生したときの応急対策、災害復旧に関する責務・役割を定めることで、災害対策を総合的かつ計画的に推進し、市民の生命・身体・財産を災害から保護することを目的としています。

防災対策の基本理念

防災対策は、市民一人ひとりが自分自身と家族の安全を守る「自助」が基本です。また、身近な地域住民がお互いに助けあう「共助」も重要です。一方、自助や共助で対応できない対策は、市の公助が必要になります。防災対策として市民・事業者・市・議会は、「自助」・「共助」・「公助」の理念に基づき、それぞれの責務と役割に応じ、連携を図りながら災害対策に取り組んでいかなければなりません。



※この条例の解説編を、本庁・各支所・公民館・情報館に配置しています。また、市ホームページにも掲載しています

Pick Up 3月は「新潟県自殺対策強化月間」です

たった一人のあなたです　たった一つの命です

●●●●●問合せ：健康づくり推進課☎757-9764

新潟県は3月を「自殺対策強化月間」とし、市でもさまざまな取組みを実施しています。1人の自殺は周囲にいる5～6人に大きな影響を与えると言われています。大切な命を守るため、自分自身や周りの人がこころのサインに気づき、適切に対応することが大切です。

春はストレスが多い季節

春は生活や環境の変化が多い季節であり、それによってさまざまな精神ストレスを蓄積してしまいます。

進学・就職・異動・昇進・引越しなど、本来であれば喜ばしいことでもストレスを感じ、うつ病につながることもあります。

うつ病は自殺の危険信号

自殺の原因はさまざまですが、背後にうつ病が潜んでいることが多いと言われています。

「うつ病」は、10人に1人が一生のうちに一度はかかるといわれています。誰でもなる可能性がある普通の病気です。しかし、自分では気付かなかったり、〝やる気のなさ〟や〝なまけ〟と勘違いしたりして見過ごしてしまうこともよくあります。軽くあなどって放置しておくことはとても危険です。

自殺は、こころの弱い人にだけ起こると考えるのは間違いです。真面目な人や熱心な人、これまで強く生きてきた人に起こることが、決してまれではない現象です。

こころの病気と自殺は関係が深く、自殺者の9割以上にこころの病気があったと言われています。しかし、実際に医療機関で治療を受けていた人は、そのうち2割に過ぎません。

うつ病予防のために

次のような症状が**2週間以上**続くときは早めに専門医を受診しましょう。

- 気分が沈む。気分が落ち込む。ふとしたことで泣いてしまう
- やる気が起きない。ついつい自分を責めてしまう
- 眠れない。寝付いてもすぐに目覚めてしまう。夜中に何度も目が覚める。明け方に目覚めてしまう
- 食欲がない。痩せてきた。または、あまりにも食べ過ぎてしまう
- 頭痛・肩こり・体の動きにくさ・だるさ（内科にかかったが「特に悪いところはない」と言われた）
- 物事の順序が考えられない。物事に集中できない
- 以前できていたことができなくなった（仕事・家事など）
- 飲酒量が増えた

こころの相談に関する窓口

■新潟県こころの相談ダイヤルで毎日24時間相談を受け付けます。

ナビダイヤル　なやみ　なしにいがた
0570－783－025

■市の保健師や保健所の精神保健相談員も相談に応じます。

健康づくり推進課・各支所市民課・十日町地域振興局健康福祉部（保健所）に問い合わせてください。

■精神科医および臨床心理士によるこころの相談会をしています。

毎月1回、予約制で相談会を開催しています。相談は無料です。秘密は守られます。健康づくり推進課、または十日町地域振興局健康福祉部（保健所）へ問い合わせてください。

健康とおかまち21「こころの健康」重点目標
「悩みやストレスをためずに、いつでも相談できる人を持っている割合を高める」

全国表彰 おめでとうございます

交通安全の分野で長年にわたり活躍・貢献した皆さんが表彰されました。

警察庁長官表彰 全日本交通安全協会長表彰
（交通栄誉章 緑十字金章）

児玉 昭一郎さん（稲葉・79歳）

警察庁長官表彰 全日本交通安全協会長表彰
（交通栄誉章 緑十字銀章）

樋口 誠さん（土市第四・77歳）

全日本交通安全協会長表彰
（交通安全優良学校）

十日町市立川治小学校
（校長：渡邊 善則）

温泉街ではしご酒

２月11日㈭～13日㈯：松之山温泉街

文教大学井門ゼミナールとの共同企画イベント「松之山温泉ふぇすてぃＢＡＲ（バル）」を初開催。温泉街の旅館がそれぞれ工夫した一品料理とお酒１杯を格安の料金で提供。特設の雪でつくられたCAMA蔵（きやまくら）などでは、文教大学の学生が手づくり料理とイベントで盛り上げてくれました。各旅館自慢の料理とお酒をはしごできるとあって、温泉街は大勢の人でにぎわいました。

防犯意識を高めよう

２月12日㈮：中里なかよし保育園

中里地区自治防犯協会から来春、小学校に入学する園児たちに防犯ブザーが贈呈されました。田沢・倉俣駐在所の協力で、さすまた講習会も行われ、本番さながらの緊迫した演技に園児たちは犯罪の恐ろしさを肌で感じました。

実りへの期待を胸に

２月14日㈰：大白倉集落

小雪で雪の土台が作れないため、開催が１か月延期となった大白倉バイトウ。小雨が降る中、高々と上がる炎を見上げた実行委員会の中村庄平さん（63歳：大白倉）は「小雪で心配なところもありますが、実りの多い年になるでしょう」と秋への期待を膨らませました。

南国のみなさん、ようこそ雪国へ

２月４日㈭～７日㈰：中里地域

沖縄県久米島町の５年生14人が中里地域を訪れました。同名村だった沖縄県仲里村（合併で久米島町）と、互いに児童がホームステイするなどの交流事業を続けて、今回で50回の節目を迎えました。児童は寒さに驚きながらも、雪合戦やスキーなどを楽しみながら友情を深め、夏の再会を約束し合っていました。

まちの話題 タウントピックス TOWN TOPICS

雪国体験プロジェクト（早稲田大学）

２月16日㈫～21日㈰：松代地域

地域との交流に長い歴史を持つ「松代早稲田じょんのびクラブ」の学生たちが、ボランティアで雪掘りなど豪雪地域特有の文化を体験をしました。松代小学校との交流では、学生たちが「雪合戦」を企画し、児童と学生たちは元気いっぱい遊びながら交流を深めました。

レポート 小中一貫教育 「学校で友達と会うのが楽しい」ー児童生徒にアンケート調査結果ー

小中一貫教育の本格実施前年度の平成25年度から、児童・生徒にアンケート調査を実施。本年度の結果は表のとおりです。注目点として、「自分にはよいところがある」や「将来の夢や目標をもっている」と感じている児童生徒の割合は、当初からあまり大きな改善が見られません。「ありがとう」「助かるよ」などの声掛けで、子どもたちが自分の存在価値を認め、目標に向かう力を育みましょう。※詳しくは、市ホームページ掲載の小中一貫教育だより「つながる」第22号をご覧ください

平成27年度小中一貫教育児童生徒アンケート結果（平成27年12月実施）

アンケート項目	肯定的回答※
学校で友達と会うのが楽しい	97.1% ↓(↓)
自分の住む地域や十日町市が好き（小３～中３）	94.0% ↑(↑)
学校が楽しい	93.8% ↓(↑)
学校で好きな授業（勉強）がある	92.9% ー(↑)
中学校への進学が楽しみだ（小６のみ）	92.8% ↓(↑)
学校の授業以外で学習に取り組んでいる（小５～中３）	85.4% ↑(↑)
将来の夢や目標をもっている（小５～中３）	80.5% ↓(↓)
自分にはよいところがあると思う	76.6% ↑(↑)

体育祭での小中一貫種目

※肯定的回答：「そう思う」「大体そう思う」と答えた割合、26年度より増「↑」、減「↓」、同じ「ー」、（ ）内は対25年度

まちの話題 タウントピックス TOWN TOPICS

「森の学校」キョロロが日本自然保護大賞受賞

２月７日㈰：日比谷コンベンションホール（千代田区）

「森の学校」キョロロが、公益財団法人日本自然保護協会より「日本自然保護大賞（教育普及部門）」を受賞しました。全国126件の応募の中から、中山間地の里山保全、生物多様性保全に関する教育普及活動のモデルとして、同館の博物館活動が全国的に高く評価されたものです。大賞受賞は県内で初、また公立の施設としては全国初の受賞となりました。

第20回やまて・十日町市中条冬交流

２月５日㈮～７日㈰：桂スキー場ほか

平成９年から始まった岡山県総社市山手地区と中条地区の交流が20年の節目を迎えました。今年は児童、引率併せて59人が訪れ、児童は中条小生徒の家でホームステイをしながら雪国の生活や、スキー、スノーチュービングなどの雪遊びを体験しました。山手訪問団団長の小野咲季さん（山手小・６年）は「思っていたよりも雪が多く、雪景色はとてもきれい。雪遊びはすごく楽しくて、花火もとてもきれいでした」と話していました。

伝統の神楽でおもてなし

２月29日㈪：ひなの宿ちとせ（松之山温泉）

韓国からの観光ツアー客に向けて、地域に伝わる湯山神楽が披露されました。天狗や獅子などが登場する伝統芸能に、食事中の観客も皆さん箸を休め、30分間の演舞に見入っていました。神楽を披露した小口公夫さん（湯山神楽保存会会長）は、「外国のお客さんの前で舞うのは今回で３回目です。熱心に見てくれるので今後も続けていきたい」と話しました。

大地の芸術祭の里 こへび隊・サポーター通信㉓

地元の人と一緒に盛り上げていきたい

橋本　正太郎（東京都出身・在住・37歳・会社取締役）

▼こへび隊としての活動

―大学生だったときにこへび隊に誘われて以来、１９９９年の第１回芸術祭の準備から携わっています。事務局運営・雪の運動会団長・こへび弾丸ツアー主催などの活動をしています。

▼活動を通しての感想

―こへび隊は、地元の人が生活している場での活動が多いです。調整が難しいこともありますが、これからの持続する地域づくりとアートにとって「突破力」になると思います。

　世代や社会的立場、地域・国境を超えてつながりができ、自分の能力も生かせます。

▼これから「こへび隊」や「地元サポーター」になる人へ一言

―気軽に参加してください。こへび隊は地元の人たちと一緒に芸術祭と妻有を盛り上げたいと思っています。今回の「雪の運動会」（３月12日開催、こへび隊運営）は、まつだい冬の陣と共同開催します。誰でも参加できるので、東京から来た若者と交流してください！

■問い合わせ先
「大地の芸術祭」の里
総合案内所
☎７６１―７７６７

ふるさとの思い出 想史創愛 5

郷土出身者が写真を添えて昔の思い出を語ります。

滋野　徳義さん
神奈川県川崎市在住
（72歳・野口出身）

■問合せ
企画政策課広報広聴係
☎757-3112

■思い出の橘中学校

　私が中学校へ進学した年、生徒数が増えたため校舎が地区の高台に新築されました。体育館の床を雑巾がけしたことや、校庭に積もった雪を早くとかすために、みんなで雪を掘り上げ迷路を作って遊んだことなどを思い出します。その橘中学校も閉校となり、思い出の詰まった学校がなくなってしまったのは残念です。

■ふるさとを結ぶ橘交流

　５年ほど前から、「橘」の名を縁に十日町市と川崎市、それぞれの橘地区の交流を始めました。川崎市で開催される「橘ふるさと祭り」には十日町市の橘地区の皆さんも参加して農産物などを販売しています。また、川崎市からも子どもたちが十日町市を訪れ、田植えや稲刈り、サツマイモ堀りなどの農作業を体験しながら楽しんでいます。これからも故郷「橘」と今の住まい「橘」の交流を深めていきたいです。

清津峡を訪れた中学校の遠足

若者×若者 キラメキワーカーズ
～語る 仕事・会社・十日町市への思い～
十日町市の仕事人

重野　敦志さん（南新田町２・32歳）

東京での就職、海外への語学留学などを経て地元へ戻り、実家が経営する当社へ入社。主にクレーンの運転を担当して４年目。

西山　柊平さん（上田原・20歳）

27年４月に当社へ転職し、クレーンの運転を担当。クレーン操作の国家資格を取得し、日々実践で成長中。

■問合せ
産業政策課
☎757-3139

クレーンの魅力を感じながら現場に携わっています

西山さん―もともと機械類が好きだったので、やりがいを持って仕事をしています。入社後、当社の神棚から、「でっかいクレーンのうんてんしゅになりたい」と書いた幼少期の七夕の短冊の写真が発見されました。そのときは運命を感じましたね。

重野さん―重機への興味は薄かったのですが、30歳を前にして地元で働くことを決意しました。入社後は、クレーンの難しさと魅力を感じるようになりました。

感覚が必要な仕事。まちづくりが実感できます

西山さん―クレーンは揺れをコントロールしなければならず、他の重機よりも感覚を研ぎ澄す、職人のような仕事。壁越しや高所に下ろす作業は、目で荷物の姿を確認できないので極度に緊張します。

重野さん―僕らは物を直接作るわけではありません。しかしながら、住宅から公共工事まで毎日違う現場で、まちが作られている様を見ることができます。そこに携わることができたことに誇りと喜びを感じます。

目標を持って、攻めの姿勢で成長していきます

西山さん―「でっかいクレーンのうんてんしゅになりたい」という目標は変わりません。弊社が最近導入した、県内にいくつもない70トンのクレーンも使いこなし、たくさんの経験を積んで、どんな現場にも対応できるようになりたいです。

重野さん―板金・溶接など、仕事の幅を広げられたら。時代の移り変わりにも対応していけるよう、攻めの姿勢で会社とともに成長していきたいです。

協力企業

■㈱大野屋重機建設
- 建設揚重業、建設業、高所作業車レンタル
- 十日町市四日町新田３
- 従業員９人
- ☎752-3723

「一世紀を越えた大野屋 次の100年へ」
70トンラフタークレーンを導入しました。

GUIDE ～お知らせ・ガイド～

催し・講座

第７回 山内写真館資料写真展 昭和の十日町～春夏秋冬・町のにぎわい～

昭和30・40年代を中心に約80点の写真を展示。

日 ３月15日㈫～27日㈰午前９時～午後７時
会 情報館
問 文化財課（☎757―5531）

松之山温泉スキー場 スキーカーニバル

日 ３月20日㈰午前11時～午後３時
会 松之山温泉スキー場
内 福まき・雪上ミニゲーム・「からっぱこ」ライブ・スノーアクティビティ体験会など
他 当日は第一リフト無料開放
問 市観光協会松之山事務所（☎596―3011）

枯木又 手打ちそばの会

日 ３月20日㈰午前10時～
会 のっとこい
¥ １５００円、中学・高校生７００円※小学生以下無料
申・問 春川（☎759―2216）

商業活性化セミナー

地元新潟の事例を中心に、繁盛店になるためのアイデアとヒントを紹介します。

日 ３月22日㈫午後７時～９時
定 １００人
講 長谷川博之さん（㈱リンケージM・Iコンサルティング）
〆 ３月15日㈫
会・申・問 十日町商工会議所（☎757―5111）

スノーボランティア「夢雪隊」設立20周年事業記念シンポジウム

20年間の活動を振り返り、今後の活動を考えます。

日 ３月26日㈯午後２時～４時30分※開場１時30分
会 千手中央コミュニティセンター
内 基調講話：「中で感じた十日町　外から見える十日町」、トークセッション：ボランティア新時代～雪の現場から～」
講 鶴間尚さん（新潟日報社メディアシップ企画統括部長）
問 十日町市社会福祉協議会川西支所（☎768―3345）

募集

第28回十日町市民音楽祭 出演団体

市内の音楽団体が一堂に会して、活動の成果を発表する音楽祭に出演しませんか。

●開催日＝６月26日㈰
会 市民会館
〆 ４月10日㈰
申・問 生涯学習課（☎757―8918）

福祉・健康

国保診療所 診療時間のお知らせ

４月からの国保診療所の診

稚魚放流に参加しませんか サケ放流祭

多くのサケが帰ってくることを願い、放流します。

日 ３月26日㈯午前10時～11時（予定）※荒天・河川増水時は中止
会 ＪＲ東日本宮中取水ダム下流右岸河川敷（魚道付近）
●集合＝午前９時30分：ミオンなかさと第２駐車場※会場には駐車場なし。駐車場と会場の間はシャトルバスを運行。徒歩の人は午前10時までに会場集合
持 バケツ・ぬれても良い服装（雨具・長靴など）
他 小学生以下は保護者同伴・宮中取水ダムの魚道観察室へ水槽展示予定
問 ＪＲ東日本信濃川発電所（☎0258―82―2702）

広告掲載

平成28年度 生徒募集!!
4月5日㈫ 新学期スタート

コース	時　間	曜　日	月　謝	教材費
小学生	18:00～18:50	木	3,000円	2,000円／年
中学１・２年 基礎	19:00～20:25	火・木	11,000円	8,000円／年
中３生 受験対策	19:00～20:25	月・水・金	15,000円	10,000円／年
津南中等教育学校	17:30～20:25	水	13,000円	必要に応じて、その都度購入していただきます。
高校１・２年 基礎	17:30～18:50	火・金	13,000円	
高３生 受験対策	17:30～18:50	木	8,000円	

入校金 5,000円

※中３受験コース生のみ、新潟県統一模試会の模擬試験を受験していただきます。志望校により、筆頭検査がある場合5,600円、ない場合3,700円となります。また、８月12月に追加対策講座を受講していただきます。受講料10,000円となります。

※今年度より、本町３ ヤマダビルよりプラザコアビルに移転します。

本町３丁目 プラザコアビル３F
進学教室 シューレ
☎090-1033-2994まで

※市では広告を募集しています。詳しくは広報広聴係まで

日日時 休休館日 会会場 対対象者 ¥料金（記載がないときは無料） 定定員 内内容
持持ち物 講講師 他その他 〆締め切り 申申し込み 問問い合わせ FＦＡＸ

療予定をお知らせします。
【国保川西診療所】
月～金曜日の午前（午後休診）
【国保松之山診療所】
月～木曜日の午後（午前休診）
【国保倉俣診療所】休診
※受付時間などの詳細は決定後お知らせします
問国保川西診療所（☎768―2034）

スポーツ

ネージュスポーツクラブ オープニングフェスタ2016

日3月27日㈰午前9時30分～11時50分
会市総合体育館・武道館
¥300円（入館料・保険料込）、ネージュ会員はチケット1枚
内スポーツ教室の紹介・体験会、トレーニング室の見学・相談会、体成分分析装置InBody（インボディ）紹介※トレーニング室の利用は中学生以上
他参加者全員に無料教室体験チケットをプレゼント
問NPO法人ネージュスポーツクラブ（☎752―4377）

会員募集 十日町軽スポーツクラブ

健康長寿・介護予防に、友だちづくりに楽しみながら気持ちよく汗を流しませんか。
日毎週水曜日午後1時30分～3時30分※随時入会可
会市民体育館
内レクダンス・舞踊・卓球・バドミントンなど
申・問代表・田口静江（☎752―2683）

くらし・相談

入湯税を改定します

4月1日から入湯税を次のとおり改定します。
入湯税は観光振興などに充てる目的税として、温泉施設を利用した人に課税されます。平成26年度の市の入湯税は約5千万円の税収があり、観光誘客や大地の芸術祭などの観光振興事業の経費の一部に充てました。
問税務課管理収納係（☎75―3113）

入湯税額（1人当り）	現行	改定後
日帰り	50円	100円
宿泊（1泊）	100円	150円

資源物回収センター変更のお知らせ

ごみ焼却場の設備改良工事完了のため、資源物回収センターを通常のストックヤードへ変更します。搬入の際は、受付の指示に従い分別して搬入してください。平成28年度も建屋などの補修工事を予定しています。資源物は可能な限りクリーンステーションへ出すようにご協力をお願いします。
問環境衛生課衛生業務係（☎752―3924）

事業所向け補助金活用セミナー

日3月16日㈬午後2時～
対市内の事業所
内NICO（ニコ）（にいがた産業創

中小企業・小規模事業者への助成事業

国の平成27年度補正予算で実施される事業の一部を紹介します。詳細は各省庁のホームページをご覧になるか、問い合わせてください。

【ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金】
対中小企業の革新的な商品・サービス開発、生産性向上のための設備導入
●**補助率**＝3分の2※上限500万円～3,000万円（申請の種類により異なります）
問中小企業庁技術・経営革新課（☎03-3501-1816）

【中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業】
対効率的な省エネ設備（空調・工業炉・給湯など）への更新
●**補助率**＝3分の1
問資源エネルギー庁省エネルギー対策課（☎03-3501-9726）

【小規模事業者持続化補助金】
対小規模事業者が商工会・商工会議所と一体となって行う販路開拓の取組み（チラシ作製費用や商品パッケージ製作費用など）
●**補助率**＝3分の2※上限50万円（買物弱者対策などは100万円）
問中小企業庁小規模企業振興課（☎03-3501-2036）

〈共通〉
問産業政策課（☎757-3139）

広告掲載

平成28年度 新潟県交通災害共済受付中!!
「交通事故(※)」によるケガ等に見舞金を支給します
※自損事故・車の同乗者・自転車の転倒事故（道路を運転中）等も対象になります
年会費500円 ひとり年額500円です
お申込み方法など詳しくは、町内会経由で配布される封筒の中身をご覧ください。
お問合せは／十日町市 防災安全課 交通防犯係☎025(757)3197
（もしくは各支所 地域振興課 地域振興係まで）

※市では広告を募集しています。詳しくは広報広聴係まで

市民スキー選手権大会

問スポーツ振興課（☎756-5013）

クロスカントリー（第45回大会）

日2月7日㈰
会吉田クロスカントリー競技場

種別			1位
小学	2年以下	男子	中町　拓夢（下条JXC）
		女子	阿部　柑菜（川治XC）
	3年	男子	佐藤　五輪（鎧島小）
		女子	牧田　鈴葉（松代小）
	4年	男子	春日　喜行（吉田小）
		女子	高澤　友花（鎧島小）
	5年	男子	佐藤めだる（鎧島小）
		女子	中川　南都（吉田小）
	6年	男子	関口　晴日（吉田小）
		女子	佐藤　実花（川治XC）
中学	男子		高橋　幸也（松之山中）
	女子		濱野　希美（吉田中）
小学	男子リレー		相崎康介、児玉智義、関口晴日（吉田ブルー）
	女子リレー		佐藤実花、遠田鈴、佐藤千佳（川治ガールズA）
中学	男子リレー		小野塚光星、中川波葵（吉田B）
	女子リレー		日向野凛香、北井詩織（南中女子A）

アルペン競技（第11回大会）

日2月7日㈰
会まつだいファミリースキー場

種別			1位
小学	3年以下	男子	柄澤　健琉（中条小）
		女子	山賀　凪（松代小）
	4年	男子	児玉成太郎（吉田小）
		女子	水落　日子（中条小）
	5年	男子	樋熊　柊汰（東小）
		女子	小林　蛍（十日町SC）
	6年	男子	井口　尚也（水沢小）
		女子	山賀　萌和（松代小）
中学	男子		宮沢　大吾（水沢中）
	女子		佐藤　菜月（松代中）
成年	男子	B	志田　政也（清津JSC）
		C	樋熊　一茂（十日町SC）
		D	富井　孝（当間SC）
		E	宮沢　伸一（当間SC）

全国大会で十日町市勢が活躍

問スポーツ振興課（☎756-5013）

次の3つのスキー大会で、市から出場した選手が活躍しました。
各大会の入賞者を紹介します。（敬称略）2月19日現在

■第53回全国中学校スキー大会（クロカン）
日2月3日㈬～6日㈯
会なよろ健康の森クロスカントリーコース（北海道）
●**女子リレー**＝新潟県（日向野凛香・南中・1走、中嶋陽奈・吉田中・3走）：3位
●**女子3kmクラシカル**＝日向野凛香（南中）：9位

■第65回全国高等学校スキー大会（クロカン）
日2月5日㈮～8日㈪
会青森あじゃらクロスカントリーコース（青森県）
●**男子10kmフリー**＝羽吹唯人（十日町総合）：7位
●**男子リレー**＝十日町高（相崎有哉、関口恭、中島竜之介、太島綾志）：7位
●**女子リレー**＝十日町高（小嶋優莉、服部智子、馬場真穂菜）：6位

■2016年第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム
日2月13日㈯～14日㈰
会五日町スキー場（南魚沼市）
●**ディビジョンM5／3kmフリー**＝村越裕太郎（野口）：1位
●**ディビジョンM2／4×1kmリレー**＝村越裕太郎（野口）：1位

日日時 休休館日 会会場 対対象者 ¥料金（記載がないときは無料） 定定員 内内容
持持ち物 講講師 他その他 〆締め切り 申申し込み 問問い合わせ FＦＡＸ

造機構）・ハローワーク十日町・市の担当者による事業所向け各種支援制度の説明
会・申・問十日町商工会議所（☎757―5111）

［台湾地震被災者救援募金］

●**募集期間**＝3月31日㈭まで
●**払込先**
・口座名：台湾地震被災者救援募金代表・佐久間豊
・口座情報：**【第四銀行】**県庁支店普通／1305361、**【北越銀行】**県庁支店普通／2015864、**【大光銀行】**新潟支店普通／3513370、**【新潟信用金庫】**出来島支店普通／1040282
※銀行窓口・信用金庫窓口から振り込んでください
問新潟県知事政策局国際課（☎025―280―5098）

平成28年度　犬の登録・狂犬病予防注射のお知らせ

飼い犬は登録と毎年１回の狂犬病予防注射を受けることが義務付けられています。
¥3,200円
※新規登録犬は登録料（3,000円）も必要
持案内はがき（既登録犬のみ）

●**注意事項**
・犬の死亡・転入・変更があったときは、届出が必要です（認印・鑑札・注射済票持参で、環境衛生課・各支所地域振興課、または集合注射会場まで）
・犬の老齢や病気などの理由で注射が受けられないときは、獣医師の診察を受け猶予証明書を発行してもらい、環境衛生課に提出してください
・時間内に終わるように来場し、犬のふんは飼い主が責任を持って片付けてください

問環境衛生課環境企画係（☎752-3924）

日・会

地域	期日	会場	時間
十日町	4月11日㈪	十日町保健所	午前９時30分～11時
		旧八箇小学校	午前11時20分～11時30分
		吉田山谷集会所	午後１時30分～１時50分
		吉田公民館	午後２時～２時15分
		高島集会所	午後２時25分～２時40分
		羽根川荘	午後３時～３時10分
	4月15日㈮	上新田自治会館	午前９時30分～９時45分
		下条公民館	午前10時～10時30分
		旧東下組保育所	午前10時45分～10時55分
		中条公民館	午前11時10分～11時40分
		新水克雪センター	午後１時30分～１時45分
		上原集会場	午後２時10分～２時25分
	4月28日㈭	市民体育館	午前９時20分～10時20分
		大井田コミュニティセンター	午前10時30分～11時15分
		水沢公民館	午後１時30分～２時20分
		平成園	午後２時40分～３時
		野中地区集会所	午後３時20分～３時30分
	5月15日㈰	市役所本庁	午前９時～11時
川西	4月26日㈫	室島集落センター	午前９時30分～９時40分
		旧川西町克雪管理センター	午前９時50分～10時10分
		高齢者コミュニティセンター	午前10時40分～11時
		上野地区コミュニティセンター	午前11時20分～11時40分
		千手中央コミュニティセンター	午後１時30分～２時20分
中里	4月20日㈬	宮中集落センター	午前９時15分～９時30分
		おもやドライブイン	午前10時～10時10分
		白羽毛ふれあいセンター	午前10時30分～10時40分
		倉俣集落センター	午前11時～11時10分
		田代集落センター	午前11時30分～11時40分
		旧中里総合センター	午後１時30分～２時
松代	4月19日㈫	犬伏作業所	午前９時30分～９時40分
		松代庁舎	午前10時～10時30分
		蒲生生活改善センター	午前10時45分～10時55分
		室野克雪管理センター	午前11時10分～11時20分
	5月15日㈰	松代庁舎	午後３時30分～４時
松之山	4月19日㈫	浦田克雪センター	午後１時30分～１時45分
		松之山庁舎	午後２時５分～２時30分
		布川防雪センター	午後２時45分～３時
		スキー場駐車場	午後３時15分～３時30分
他	5月15日㈰	津南町役場	午後１時30分～２時15分

※他地域の会場でも受けることができます

市役所窓口を延長します

春は就職・転勤・進学などの届出が多くなります。この期間、市では一部の窓口業務を延長します。

届出はお早めに

3月・4月は窓口が大変混雑します。手続きや証明書の発行に時間がかかることもあります。特に休日の前後や昼休みは混雑します。

本庁の窓口業務を延長します（平日のみ）

●**延長期間：3月24日㈭～4月6日㈬**
●**延長時間：午後7時まで**

※本庁窓口のみ延長します
※延長時間中は対応する職員が少なくなるため、お待たせすることがあります

延長窓口の業務内容

❶戸籍
出生届・死亡届など各種戸籍届出の受付、戸籍・除籍・改製原戸籍証明書の発行など

❷住民基本台帳
転入届・転出届・転居届、世帯主変更届の受付、住民票の写しの発行など。※特例転入などの住基ネットを利用した業務は除く

❸自動交付機の利用登録

❹印鑑登録・証明書の発行

❺自動車臨時運行許可

❻国民年金
各種申請などの受付　※年金手帳を持参してください

❼国民健康保険・後期高齢者医療保険
各種申請などの受付　※健康保険の切り替えは必ず本人または家族の届出が必要です

❽母子保健
妊婦健診受診票の交付、予防接種・乳幼児健診に関する手続き　※母子健康手帳を持参してください

❾子育て支援
児童手当・児童扶養手当・医療費助成に関する申請などの受付

問❶～❺市民生活課市民年金係（☎757―3116※8）、❻のみ☎757―3741、❼市民生活課国保係（☎757―3735）、❽健康づくり推進課母子保健係（☎757―9759）、❾子育て支援課子育て支援係（☎757―3719）

注　意

旅券（パスポート）事務・公的個人認証（電子証明書）事務は延長しません。**午後5時まで**に窓口においでください。

戸籍や住民票などの請求時に本人確認をしています

戸籍法および住民基本台帳法に基づき、戸籍や住民票などの請求時に本人確認をしています。申請するときは、運転免許証や住基カード（写真付き）などの本人確認書類を持参してください。

自動交付機をご利用ください　早い　安い　簡単

住民票や印鑑証明書が必要な機会が増える時期です。ぜひ利用してください。

●**設置場所**＝本庁舎玄関
●**利用時間**＝毎日午前8時～午後8時（土・日曜日も利用可）

利用には事前登録手続きが必要です。手続きは、開庁時間に窓口へおいでください。

●**申請者**＝利用者本人のみ
※代理不可
●**必要なもの**＝印鑑登録証・住民基本台帳カード・マイナンバーカードのいずれかと、写真付きの本人確認書類（運転免許証など）
●**登録手数料**＝無料
●**手続き場所**＝市民生活課・各支所市民課

このとき熱中&夢中!

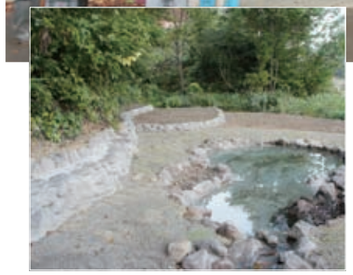
市民活動ネットワークひとサポが、旬な人・団体を紹介します。 96

松代おやっこ村

みんなの「帰る場所」であり続けるために

松代中部地区の有志で構成され、農業の存続や里山の保全・再生を目指す「松代おやっこ村」。里山の暮らしを体験する場を提供し、〝ふるさと〟を感じてもらう事で都市部に住む人とおやっこ（＝親戚）のような関係を育んでいます。そのほかにも農産物販売・ビオトープの整備・県外企業と連携した健康茶原料の出荷など、精力的に活動しています。

◆問合せ：会長・富澤恵子さん（☎597―2285）



国道253号線沿いのふれあい市場は毎年５月～11月に開設（水・土・日曜日営業）。中部地区から集まった山菜や野菜が並びます。昨年秋には販売所をリニューアルし、ビオトープやミニステージも整備しました。

県内外から訪れる人々は田植えや稲刈り・ホタル見物やイベント体験などを通じて、里山の暮らしに魅了されています。昨年ブログを見て来た新潟市の親子は、田植え体験ですっかり土地を気に入り、度々来訪。稲刈りでは、刈り入れた米の購入を即決していました。

11月には、菅刈・松代田沢集落とかねてから交流のあった八王子市で「いちょう祭り」に参加。自慢のきのこ汁と新米や野菜を販売しました。

「里山や人のぬくもりを生かし、都会の人とおやっこのように繋がれたら」と平成25年から地道に活動してきました。毎年訪れている杉並おやじ遊友塾の皆さんは、草刈・除雪の手伝いや、アンデス音楽の路上ライブを開催するなど、交流が続いています。さらにドイツで旅行企画に携わる日本人から農業体験の問い合わせもあり、関係は海外に広がりつつあります。

神奈川県で健康茶会社を営む山岸英明さん（蒲生出身）は故郷の役に立ちたいと、十日町産どくだみ茶の製造を会に打診。一昨年から原料出荷を始め、今後は生産拡大を目指して耕作放棄地でのどくだみ栽培も検討しています。

会長の富澤さん（64歳・太平）は「続けるには収益や資金確保も大切。昨年は県や企業助成で新しい直売所やメダカすくいができるビオトープを造りました。春からは散策道を整備して子どもたちの遊び場にもしたい」と語ります。「帰る場所」は、地域や世代を越えて守り育てるものとなっています。

活動を紹介したい団体を募集しています
ひとサポ ☎761―7444

おらほのたから

―つなぐ知恵と技―

10

竹細工

尾身 孝さん（鉢・79歳）

「親父が体が弱くて。家のことをよく手伝わされた。竹細工もみっちり仕込まれたもんさ」。

孝さんは小学校のころから竹細工を習い、中学生になると材料作りから全て自分でこなしました。「１月の節季市に出すってんで、正月はほとんど仕事。遊べなかったなぁ」。家庭で使うのはもちろん、家計の大切な収入源でした。どこの家も、冬場、男衆は竹細工やわら細工を作り、女衆は出機をしていました。

秋に２５０本くらい竹を収穫。「山が管理されなくなったら、ひねくれた竹が多くなった」。

売りに出すことがなくなった今でも毎年恒例の仕事。「竹と向き合う作業は、冬を過ごすための時間。作りたいときに作って、疲れたら休む。それでも勝手に手が動きます」。

親父が生活のために仕込んだ技 今でも手が覚えている

❶竹割り作業。「簡単そうに見えて難しいやんだ」。❷専用の道具で太さを揃えます。道具類は代々のもの。❸編むだけなら２～３時間でできるそう。❹一冬で20～30個作成「小さくて難しいものを編む。少ない材料で時間を多く使えるから」。❺慣れた手付きに釘付けの落合さん。

竹細工は昔から重宝されていて、その見た目は美しく、まさに芸術品。里山の暮らしが詰まったもので後世に伝えていきたい伝統技術だと思いました。

取材した人

地域おこし協力隊
落合 勇多さん

里山で育まれた知恵や技をぜひ紹介してください。自薦他薦は問いません。申し込み・問い合わせは企画政策課広報広聴係☎757―3112まで

ジュニア芸術祭

水沢小学校
129

バンザイ! バンザーイ!!

宮嶋　開晴（かいせい）さん（１年）

今年のえとのサルがバンザイしているところです。はんを大きくつくって、せのたかいサルにしました。うでや目のいちもくふうしました。

元気におよぐ魚たち

鹿島　優心（ゆうしん）さん（２年）

海の模様のたまごがわれると、中からくじら、かに、たこなどが出てきました。水の色をいろいろな色でぬって、明るい海になるようにしました。

お菓子の世界

島田　小夏（さな）さん（３年）

お菓子でいっぱいの世界に行ってみたいなと思ってかきました。くっきり線が出るように工夫してほりました。

ソリをしている自分

宮沢悠衣茄（ゆいな）さん（４年）

ソリ遊びをしている様子をかきました。白と黒の区別がちゃんとつくように、雪の感じがでるように、ていねいにほりました。

リコーダーをふく私

樋口あおいさん（５年）

音楽交歓会でリコーダーをふいているところを版画にしました。指がリアルに見えるように細かくほりました。上手にできてよかったです。

難しいイカさき体験

柳　優羽（ゆう）さん（６年）

友だちとイカさきをしているところを描きました。イカや風景のリアルさがでるように、色ぬりを工夫しました。思い出を上手に絵に表わすことができたと思います。

■発行/十日町市役所　〒948-8501 新潟県十日町市千歳町３丁目３番地
E-mail koho@city.tokamachi.lg.jp URL http://www.city.tokamachi.lg.jp/ ■編集/企画政策課広報広聴係
TEL.025-757-3112 FAX.025-752-4635